

八丈島の火山活動解説資料（平成 30 年 6 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 1）

楊梅ヶ原^{ようめがはら}監視カメラ（西山山頂の南南東約 5 km）による観測では、西山山頂部に噴気は認められません。

- ・地震や微動の発生状況（図 2 - 、図 3）

八丈島周辺を震源とする火山性地震、火山性微動は観測されていません。

- ・地殻変動の状況（図 2 - 、図 4）

GNSS¹⁾連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 八丈島 西山山頂部の状況
(6月2日、楊梅ヶ原^{ようめがはら}監視カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧できます。

次回の火山活動解説資料（平成 30 年 7 月分）は平成 30 年 8 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ(標高)』『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』を使用しています(承認番号 平 29 情使、第 798 号)。

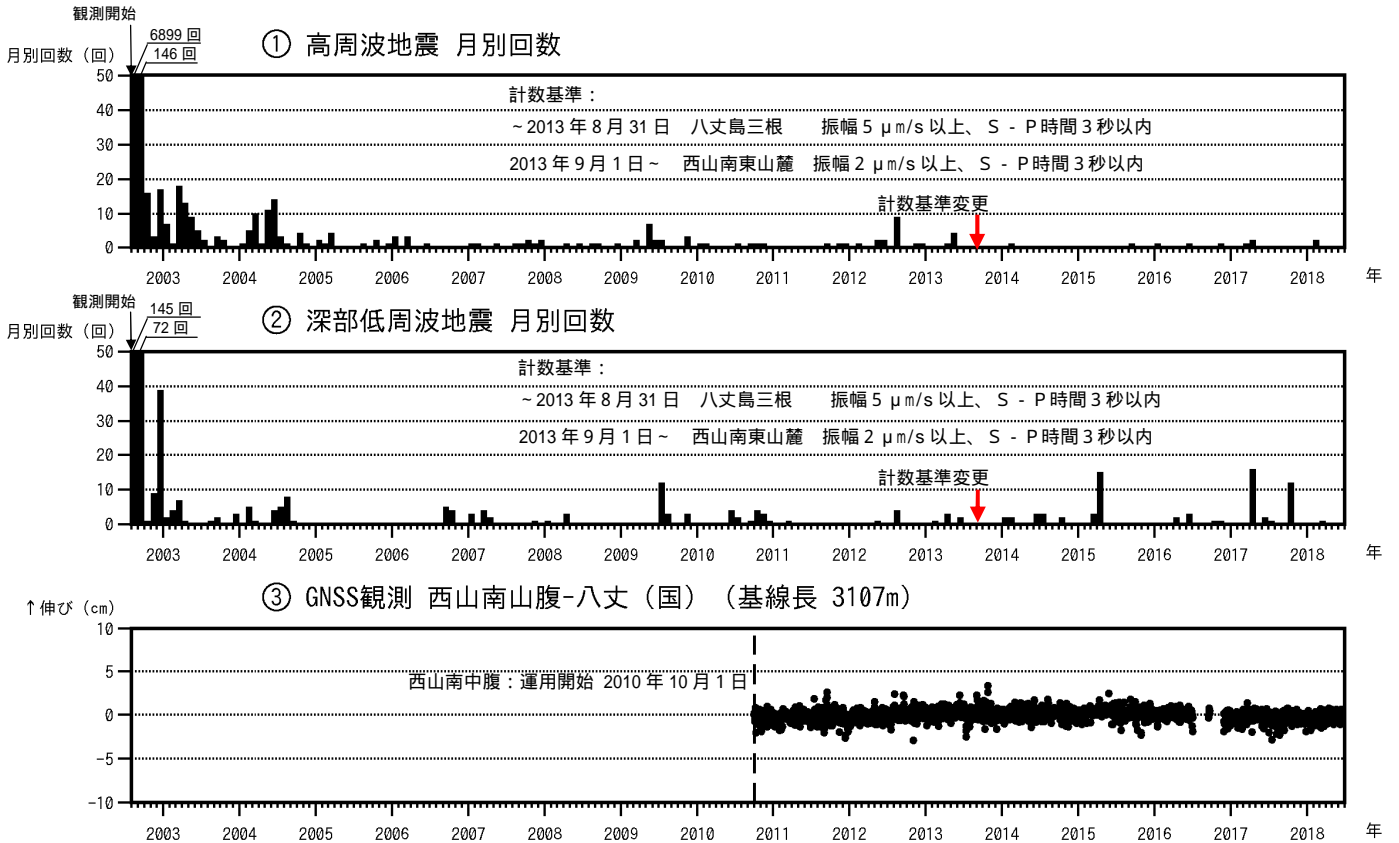


図2 八丈島 火山活動経過図(2002年8月13日~2018年6月30日)

- 地震回数の計数基準
 - 2013年8月31日まで八丈島三根 振幅5 $\mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間3秒以内
 - 2013年9月1日 から西山南東山麓 振幅2 $\mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間3秒以内
- (国): 国土地理院、図4の基線 に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示しています。
- 地震活動は静穏な状態で経過しています。また、GNSS 連続観測の基線変化には火山活動 によると思われる変動は認められません。

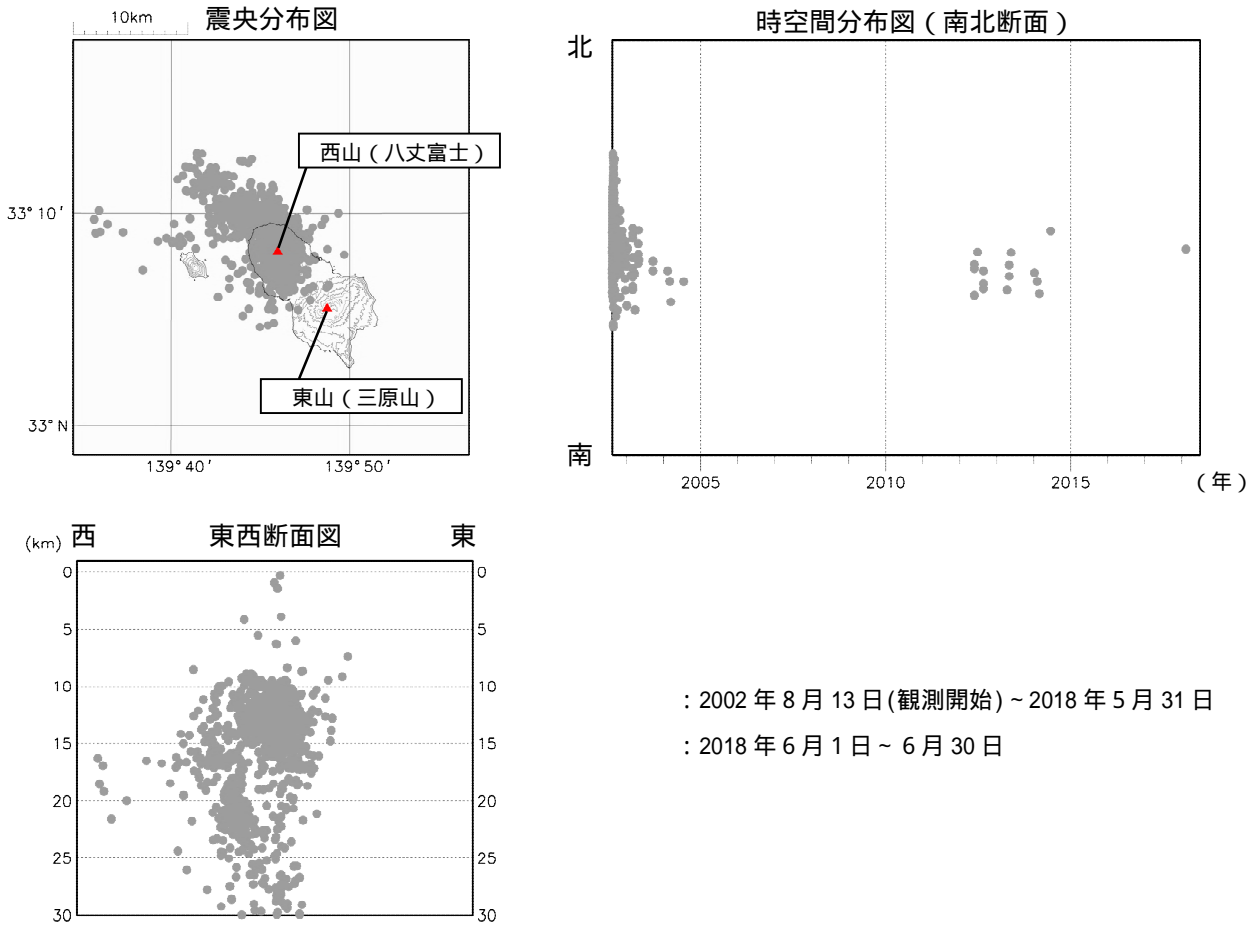


図3 八丈島 震源分布図（2002年8月13日～2018年6月30日）
 ・今期間、震源の求まる地震の発生はありません。



図4 八丈島 観測点配置図
 GNSS 基線 は図2の に対応しています。

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国)：国土地理院、(防) 防災科学技術研究所、(都)：東京都